



2021年12月17日

各 位

会 社 名	エクシオグループ株式会社	
代表者名	代表取締役社長 (コード番号 1951 東証第1部)	船橋 哲也
問合せ先	取締役常務執行役員経営企画部長 (TEL. 03-5778-1070)	三野 耕一

光陽エンジニアリング株式会社の簡易株式交換による完全子会社化のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社、光陽エンジニアリング株式会社（以下、「光陽エンジニアリング」といいます。）を株式交換完全子会社とする株式交換（以下、「本株式交換」といいます。）を行うことを決議し、本日、株式交換契約（以下、「本株式交換契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社は、会社法第796条第2項の規定に基づき、株主総会の承認を必要としない簡易株式交換の手続により、本株式交換を行う予定であります。

また、光陽エンジニアリングの直前事業年度の末日における総資産の額が当社の直前事業年度の末日における純資産額の10%未満、かつ、光陽エンジニアリングの直前事業年度の売上高が当社の直前事業年度の売上高の3%未満であるため、開示事項・内容を一部省略しております。

記

1. 本株式交換の目的

当社グループは、2020年度決算発表に際し、「2030ビジョン」「中期経営計画」を発表いたしました。当社グループは社会課題の解決を普遍的使命と考えており、イノベーションにより多様なエンジニアリングをつなぎ、融合し、価値創造による持続的成長に挑戦し続け、日本はもとよりグローバル社会から必要とされる企業グループであり続けることを目指しています。長期ビジョンの実現に向けた各事業分野の成長戦略の実行のために、今回、都市インフラ事業の拡大を企図し、本株式交換の合意に至りました。

光陽エンジニアリングは静岡県を中心にプラント、空調、給排水衛生などの管工事を行っており、工場設備のリピート受注や地方自治体から優良事業者・優良工事表彰を受けるなど高い工事品質と優良な顧客基盤を有しております。

当社グループは本株式交換により、光陽エンジニアリングが得意とする管工事などの分野での相互協力や当社グループのリソースを活用した提案による顧客基盤の更なる強化を通じて企業価値の向上を目指してまいります。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の日程

本株式交換契約締結の取締役会決議日（両社）	2021年12月17日（金）
本株式交換契約締結日（両社）	2021年12月17日（金）
本株式交換の効力発生日	2022年1月31日（月）（予定）

(2) 本株式交換の方式

本株式交換は、当社を株式交換完全親会社、光陽エンジニアリングを株式交換完全子会社とする株式交換となります。

なお、本株式交換は会社法第796条第2項の規定に基づく簡易株式交換の手続により株主総会の承認を得ずに行う予定であります。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

	エクシオグループ株式会社 (株式交換完全親会社)	光陽エンジニアリング株式会社 (株式交換完全子会社)
本株式交換に係る割当比率	1	1,000
本株式交換により交付する株式数（注）	当社普通株式：600,000株（予定）	

(注) 交付する当社普通株式は、当社が保有する自己株式を割当てる予定です。

(4) 本株式交換に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

光陽エンジニアリングにおいては、新株予約権及び新株予約権付社債を発行しておりません。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の根拠等

(1) 割当ての内容の根拠及び理由

上記2. (3) 「本株式交換に係る割当ての内容」に記載の割当比率の検討にあたり公平性・妥当性を確保するため、独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼いたしました。第三者算定機関から提出を受けた株式交換比率の算定結果及び光陽エンジニアリングの財務状況や将来の見通し等を踏まえ、慎重に交渉・協議を重ねた結果、上記2. (3) 「本株式交換に係る割当ての内容」に記載の割当比率が妥当であるとの判断に至り、合意いたしました。

なお、株式交換比率は、その前提となる諸条件について重大な変更が生じた場合、当社と光陽エンジニアリングとの間での協議により変更されることがあります。

(2) 算定に関する事項

第三者算定機関は、当社については、東京証券取引所に上場しており、市場株価が存在することから、市場株価法（2021年12月16日を算定基準日とし、算定基準日の終値、並びに算定基準日以前の1ヶ月間、3ヶ月間及び6ヶ月間の各期間の終値の単純平均値に基づき算定）を用いて算定しております。

光陽エンジニアリングについては、同社が非上場会社であることから、将来の事業活動の成果を企業価値評価に反映させるためDCF法を、また、比較可能な上場類似企業が存在することから類似会社比較方式をそれぞれ採用いたしました。なお、DCF法において使用した光陽エンジニアリングの事業計画については大幅な増減益を見込んでおりません。

当社普通株式の1株当たり株式価値を1とした場合の株式交換比率の算定結果・評価レンジは以下の通りです。

採用手法	株式交換比率の算定結果
DCF法	950～1,467
類似会社比較法	677～1,046

4. 本株式交換の当事会社の概要

	当社 (株式交換完全親会社) (2021年3月31日現在)	光陽エンジニアリング (株式交換完全子会社) (2021年6月30日現在)														
(1) 名称	エクシオグループ株式会社	光陽エンジニアリング株式会社														
(2) 所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号	静岡県静岡市駿河区下川原4-26-28														
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 船橋 哲也	代表取締役社長 片野 節男														
(4) 事業内容	エンジニアリングソリューション（通信キャリア・都市インフラ）、システムソリューション	工場プラント、空調・給排水衛生、防災設備等の企画、設計・施工・保守管理 省エネルギー関連														
(5) 資本金	6,888百万円	30百万円														
(6) 設立年月日	昭和29年5月17日	平成8年7月4日														
(7) 発行済株式数	117,812,419株	600株														
(8) 決算期	3月31日	6月30日														
(9) 大株主及び持株比率（注）	<table border="0"> <tr> <td>株式会社日本カストディ銀行（信託口）</td> <td>11.68%</td> </tr> <tr> <td>日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）</td> <td>9.56%</td> </tr> <tr> <td>エクシオグループ従業員持株会</td> <td>3.79%</td> </tr> <tr> <td>住友生命保険相互会社</td> <td>2.06%</td> </tr> <tr> <td>住友不動産株式会社</td> <td>1.87%</td> </tr> </table>	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	11.68%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9.56%	エクシオグループ従業員持株会	3.79%	住友生命保険相互会社	2.06%	住友不動産株式会社	1.87%	<table border="0"> <tr> <td>片野 節男</td> <td>31.30%</td> </tr> <tr> <td>片野 和子</td> <td>15.00%</td> </tr> </table>	片野 節男	31.30%	片野 和子	15.00%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	11.68%															
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9.56%															
エクシオグループ従業員持株会	3.79%															
住友生命保険相互会社	2.06%															
住友不動産株式会社	1.87%															
片野 節男	31.30%															
片野 和子	15.00%															
(10) 直前事業年度の経営成績及び財政状態																
決算期	2021年3月期（連結）	2021年6月期（個別）														
純資産	288,884百万円	903百万円														
総資産	491,574百万円	1,105百万円														
1株当たり純資産	2,576.78円	1,505,925.44円														
売上高	573,339百万円	1,670百万円														
営業利益	36,623百万円	176百万円														
経常利益	38,186百万円	185百万円														
親会社株主に帰属する当期純利益	24,192百万円	128百万円														
1株当たり当期純利益	217.33円	214,921.47円														

（注） 持株比率は発行済株式総数から自己株式の数を控除して計算しております。

5. 本株式交換後の状況

本株式交換による株式交換完全親会社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期に変更はありません。

6. 今後の見通し

本株式交換により、光陽エンジニアリングは当社の連結子会社となる予定です。当社の連結業績に与える影響等につきましては、軽微と見込んでおります。今後、業績予想の修正等、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

(参考) 当期連結業績予想及び前期連結実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
当期連結業績予想 (2022年3月期)	560,000	37,000	37,800	24,100
前期実績 (2021年3月期)	573,339	36,623	38,186	24,192

以 上